

ゴルフ場における芝の農薬使用基準

1 害虫の防除薬剤、使用方法及び使用上の注意事項

平成28年12月31日現在

農薬名(種類名)	毒性	使用回数	希釈倍数・使用量	散布量・方法 (記載のない場合は 平方メートル当たり)	使用時期	チ	チ											ミミズの糞塚形成防止(阻害)	使用上の注意		
						ガ	ガ	ケ	コ	シ	シ	タ	タ	シ	ス	チ	ガ			ヤ	シ
アストロ乳剤(BPM C乳剤)	劇	5回以内	500～1000倍	0.5リットル散布	糞塚形成時													○	1. 水産動植物に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意する。 2. ベントグラスでは薬害の恐れがあるので希釈倍数及び散布量を正しく守る。 3. 眼、皮膚に対して刺激性があるので、注意して使用する。		
アセルプリン(クロラントラニプロール水和剤)		2回以内	100ミリリットル/10a	200～1000リットル/10a散布	発生前～発生初期					○									1. 水産動植物に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意する。		
			20ミリリットル/10a	200リットル/10a散布	発生前～発生初期													○			
			30ミリリットル/10a	50～300リットル/10a散布	発生前～発生初期								○		○	○					
			50ミリリットル/10a	500リットル/10a散布	発生前～発生初期						○										
イールダーSG(アセタミプリド水溶剤)	劇	3回以内	2000～4000倍	500ミリリットル土壌注入	発生初期					○									1. 眼、皮膚に対して刺激性があるので、注意して使用する。		
			2000倍	300ミリリットル散布	発生初期	○							○		○	○					
				500ミリリットル散布	発生初期								○								
エスペランサ(シアントラニプロール水和剤)		3回以内	4000倍	200ミリリットル散布	発生前～発生初期					○	○			○							
エンバーMC(ペルメトリンマイクロカプセル剤)		3回以内	1000～2000倍	0.2～0.3リットル散布	発生初期													○	1. 水産動植物に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意する。		
				0.3リットル散布	発生初期																
			1000倍	1リットル散布	発生初期					○											
			2000倍	0.3リットル散布	発生初期										○						
オルトラン水和剤(アセフェート水和剤)		5回以内	1000倍	0.25～2リットル散布	発生初期													○	1. 水産動植物に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意する。		
				1～2リットル散布	発生初期															○	
				2リットル散布	発生初期											○					
ガードワン水和剤(テブフェノジド水和剤)		3回以内	4000倍	300ミリリットル散布	発生初期													○	1. 眼、皮膚に対して刺激性があるので、注意して使用する。		

農薬名(種類名)	毒性	使用回数	希釈倍数・使用量	散布量・方法 (記載のない場合は 平方メートル当たり)	使用時期	チガヤシロオカイガラムシ	チガヤシロオカイガラムシ幼虫	ケラ	コガネムシ類	コガネムシ類幼虫	シバオサゾウムシ	シバオサゾウムシ成虫	シバオサゾウムシ幼虫	タマナヤガ	タマナヤガ幼虫	シバツトガ	スジキリヨトウ	ミミズの糞塚形成防止(阻害)	使用上の注意
ガゼット粒剤(カルボスルファン粒剤)	劇	3回以内	5~10kg/10a	散布	発生初期			○	○			○							1. 水産動植物に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意する。 2. 眼、皮膚に対して刺激性があるので、注意して使用する。
					糞塚形成時												○		
カリプスター(スピノサド水和剤)		5回以内	3000~4000倍	300リットル/10a散布	発生初期												○	○	
			3000倍	300リットル/10a散布	発生初期										○				
カルホス乳剤(イソキサチオン乳剤)	劇	6回以内	1000倍	0.5~2リットル散布	発生初期												○	○	1. 水産動植物に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意する。 2. 眼、皮膚に対して刺激性があるので、注意して使用する。
				0.5リットル散布	発生初期	○													
				1~2リットル散布	発生初期		○	○		○				○					
グリーンカルホス乳剤(イソキサチオン乳剤)	劇	6回以内	1000倍	0.5~2リットル散布	発生初期												○	○	1. 水産動植物に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意する。 2. 眼、皮膚に対して刺激性があるので、注意して使用する。
				0.5リットル散布	発生初期	○													
				1~2リットル散布	発生初期		○	○		○			○						
グレモSC(メキシフェノジド水和剤)		6回以内	3000~4000倍	0.2~0.3リットル散布	発生初期											○	○		
サイハロン水和剤(シハロトリン水和剤)	劇	3回以内	2000~3000倍	300ミリリットル散布	発生初期												○	○	1. 水産動植物に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意する。 2. 眼、皮膚に対して刺激性があるので、注意して使用する。
サニーフィールドMC(エトフェンプロックスマイクロカプセル剤)		3回以内	2000倍	0.3リットル散布	発生初期												○	○	1. 水産動植物に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意する。
				1リットル散布	発生初期		○												
シバラックMC(BP MC・MEPマイクロカプセル剤)		3回以内	500~1000倍	0.3リットル散布	発生初期												○	○	1. 水産動植物に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意する。
			500倍	1~2リットル散布	糞塚形成時											○			
				3リットル散布	発生初期				○			○							
ショットガン(ダイアジノン乳剤)	劇	4回以内	1000倍	0.3リットル散布	発生初期							○					○	○	1. 水産動植物に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意する。 2. DCPA剤との同時施用および10日以内の近接散布は、薬害を生じるおそれがあるので避ける。
				3リットル散布	発生初期				○										

農薬名(種類名)	毒性	使用回数	希釈倍数・使用量	散布量・方法 (記載のない場合は 平方メートル当たり)	使用時期	チ	チ										ミミズの糞塚形成防止(阻害)	使用上の注意
						ガ	ガ	ケ	コ	シ	シ	シ	タ	シ	ス			
						ガ	ヤ	ケ	コ	シ	シ	シ	タ	シ	ス			
シラトップEW(シラ フルオフェン乳剤)		3回以内	2000～4000倍	0.3～2リットル散布	発生初期												1. 水産動植物に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意する。	
				0.3リットル散布	発生初期										○			
				0.1～0.3リットル散布	発生初期											○		
				3リットル散布	発生初期						○							
				5000倍	0.2リットル散布	発生初期										○		
スティンガーフロア ブル(フルベンジア ミド水和剤)		2回以内	35ミリリットル/10a	50～200リットル/10a散 布	発生初期											○	1. 水産動植物に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意する。	
			50ミリリットル/10a	50～500リットル/10a散 布	発生初期								○	○	○			
スピネアタック(スピ ネトラム水和剤)		2回以内	5000～10000倍	0.3リットル散布	発生初期								○	○	○			
スミチオン乳剤(M EP乳剤)		6回以内	1000倍	0.3～2リットル散布	発生初期										○	○	1. 水産動植物に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意する。 2. DCPA剤との同時施用及び10日以内の近接散布は、葉害を生ずるおそれがあるので避ける。	
				3リットル散布	発生初期						○							
					幼虫発生期								○					
ダイアジノンSLゾ ル(ダイアジノンマイ クロカプセル剤)		4回以内	1000倍	0.3リットル散布	発生初期										○	○	1. 水産動植物に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意する。	
			250倍	0.7～1リットル土壌注入	発生初期						○		○					
				1リットル散布	コアリング時 (目土前)							○						
			25倍	0.1リットル土壌混和	張芝前							○						
ダイアジノン乳剤4 0(ダイアジノン乳 剤)	劇	4回以内	1000倍	0.3～0.5リットル散布	発生初期												1. 水産動植物に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意する。 2. 眼、皮膚に対して刺激性があるので、注意して使用する。	
				0.3～1リットル散布	発生初期										○	○		
			800倍	3リットル散布	発生初期							○						
ダイアジノン粒剤5 (ダイアジノン粒剤)		4回以内	6～9kg/10a	散布	発生初期										○	○	1. 水産動植物に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意する。	
			9kg/10a	散布	発生初期											○		
タフスティンガーフ ロアブル(イミダクロ プリド・フルベンジ アミド水和剤)	劇	2回以内	100ミリリットル/10a	200リットル/10a散布	発生初期		○									○	○	1. 水産動植物に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意する。 2. 眼、皮膚に対して刺激性があるので、注意して使用する。

農薬名(種類名)	毒性	使用回数	希釈倍数・使用量	散布量・方法 (記載のない場合は 平方メートル当たり)	使用時期	チガヤシロオカイガラムシ	チガヤシロオカイガラムシ幼虫	ケラ	コガネムシ類	コガネムシ類幼虫	シバオサゾウムシ	シバオサゾウムシ成虫	シバオサゾウムシ幼虫	タマナヤガ	タマナヤガ幼虫	シバツトガ	スジキリヨトウ	ミミズの糞塚形成防止(阻害)	使用上の注意		
タフバリアフロアブル(イミダクロプリド水和剤)	劇	2回以内	1000倍	0.2リットル散布	成虫産卵時期～幼虫発生初期					○											
			2500倍	0.5リットル散布	成虫産卵時期～幼虫発生初期					○											
					発生初期						○										
					発生前～発生初期		○														
		500倍	0.1リットル散布	成虫産卵時期～幼虫発生初期					○												
		発生初期								○											
トアローフロアブルCT(BT水和剤)	-	-	500～1000倍	0.3リットル散布	発生初期											○	○				
ナイスイーグルSC(クロルフルアズロン水和剤)		4回以内	0.075ミリリットル/平方メートル	0.1～0.3リットル散布	発生初期						○			○		○	○		1. 水産動植物に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意する。		
			0.25ミリリットル/平方メートル	0.5～1リットル散布	発生初期					○											
バイオトピア(スタイナーネマ グラセライ剤)	-	-	12万5000～25万頭(約0.625～1.25g)/平方メートル	0.5～2リットル散布	発生初期					○									1. 眼、皮膚に対して刺激性があるので、注意して使用する。 2. 芝が乾燥している場合には、散布前に予め散水する。また、芝に付着した線虫を速やかに土中に移行させるため、散布後十分に散水する。 3. 散布液は、30℃以下の水で直射日光が当たらない場所で調製し、調製後は速やかに散布する。また、線虫は沈みやすいので常にかき混ぜながら散布する。 4. 低温下(15℃以下)では線虫の活動が低下するので、低温が予想される場合には使用を避ける。		
			25万頭(約1.25g)/平方メートル	0.5～2リットル散布	発生初期									○							
				1～2リットル散布	発生初期											○	○	○			

農薬名(種類名)	毒性	使用回数	希釈倍数・使用量	散布量・方法 (記載のない場合は 平方メートル当たり)	使用時期	チガヤシロオカイガラムシ	チガヤシロオカイガラムシ幼虫	ケラ	コガネムシ類	コガネムシ類幼虫	シバオサゾウムシ	シバオサゾウムシ成虫	シバオサゾウムシ幼虫	タマナヤガ幼虫	シバツトガ	スジキリヨトウ	ミミズの糞塚形成防止(阻害)	使用上の注意		
パンチショットフロアブル(ピフェントリン水和剤)		3回以内	1500倍	300リットル/10a散布	発生初期											○	○	1. 河川、養殖池等に飛散、流入しないように注意する(魚類・甲殻類等)。		
			2000倍	200リットル/10a散布	発生初期												○			
			500倍	100リットル/10a散布	発生初期												○		○	
				500リットル/10a散布	発生初期				○											
ビートルコップ顆粒水和剤(チアマトキサム水和剤)		3回以内	2000倍	0.5リットル散布	発生初期							○	○					1. 眼、皮膚に対して刺激性があるので、注意して使用する。		
			400～800倍	0.1リットル散布	発生初期				○		○									
			4000倍	1～2リットル散布	発生初期					○										
				1リットル散布	発生初期							○								
フルスウィング(クロチアニジン水和剤)		4回以内	1000倍	0.1リットル散布	発生初期					○						○	○			
			5000倍	0.5～1リットル散布	発生初期					○										
				0.5リットル散布	発生初期	○					○				○	○	○			
みみんず水和剤(MIPC水和剤)	劇	4回以内	1000倍	2リットル散布	糞塚形成時												○	1. 水産動植物に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意する。		
リラクDF(チオジカルブ水和剤)	劇	5回以内	1000～2000倍	0.5～1リットル散布	発生初期							○		○				1. 水産動植物に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意する。 2. ベントグラスに対して希釈倍数500～1000倍で散布すると薬害を生じる恐れがあるので、使用を避ける。 3. 眼、皮膚に対して刺激性があるので、注意して使用する。		
				1リットル散布	発生初期				○											
			2000～3000倍	0.3～1リットル散布	発生初期												○		○	
				2リットル散布	発生初期														○	
			2000倍	3リットル散布	発生初期						○									
				500倍	0.1リットル散布	発生初期											○		○	
			0.25リットル散布	発生初期							○									